

平成26年度 第2回山北地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成26年7月4日（金）9：30～12：00
- 2 開催場所 山北支所 会議室
- 3 出席委員 佐藤憲一、齋藤寅二、本間美喜雄、佐藤庄平、齋藤昭夫、富樫保晴、齋藤玲子、齋藤千栄、渡辺美紀子、加藤英人
- 4 欠席委員 板垣茂樹、富樫榮晴
- 5 出席職員 齋藤支所長、横山山北教育事務所長
(事務局) 地域振興課；富樫室長、富樫係長、齋藤主任
政策推進課；渡邊課長、竹内室長、田中副参事
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成26年度 第2回山北地区地域審議会 会議次第

- ・日 時 平成26年7月4日（金） 9:30～
- ・場 所 山北支所 会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 委嘱状交付（委員名簿 …………… 資料No.1）

4 正副会長選出

5 報 告

（1）合併市町村基本計画登載事業の進捗状況について …………… 資料No.2

（2）人口減少問題対策「チャレンジプラン」について …………… 資料No.3

6 議 事

（1）今年度の審議会の進め方について …………… 資料No.4

（2）山北地区の地域課題解決策に関する提言について …………… 資料No.5

7 その他

8 閉 会

会 議 経 過

1. 開会（9：30）

事務局； 本日はお忙しい中、ご出席をいただき、ありがとうございます。

本日の審議会の出欠ですが、板垣茂樹委員、富樫榮晴委員から都合により欠席との連絡が入っております。

それでは、ただ今から平成26年度第2回山北地区地域審議会を開会いたします。最初に齋藤支所長からあいさつを申し上げます。

2. 挨拶

事務局； みなさま、本日は大変ご苦勞様でございます。山北支所長の齋藤です。

みなさまにおかれましては、4期目となります山北地区地域審議会の委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。また、本日も公私共にご多忙の中ご出席いただき、心から御礼と感謝を申し上げます。

この地域審議会は、合併時における基本計画等の進行管理と計画の実効性の確保を図り、新市における均衡ある発展と公平な行政サービスを担保するために各地区に設置されたものであります。

今年度もみなさまから貴重なご意見、ご提言等をいただきながら、山北地区並びに村上市の発展に繋がる意義ある審議会にしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

引き続き、本日出席しております職員を紹介させていただきます。

【職員の自己紹介】

3. 委嘱状交付

事務局； みなさまには、本年5月1日から新たな任期での委員の委嘱となりますので、委嘱状を交付させていただきます。

【齋藤支所長から委員へ委嘱状を交付】

4. 正副会長選出

事務局； 委員のみなさま、今後2年間よろしくお願ひいたします。

それでは、次第の4、正副会長の選出についてですが、どのような決め方がよいかお諮りします。

委員； 委員の互選が良いと思いますが、富樫保晴委員が適任だと思いますので、今期も引き続き会長に推薦します。

事務局； 富樫保晴委員を会長に推薦するという意見がありますが、それでよろしければ拍手でご承認いただきたいと思ひます。

【委員全員から拍手あり】

事務局； それでは、富樫保晴委員に会長をお願ひいたします。

副会長につきましては、どのようにしたらよろしいでしょうか。

委員； 副会長は、区長会から選出した方がよいと思ひますので、区長会を代表して

佐藤憲一委員を推薦します。

事務局； ただ今、区長会から選出したらどうかということで、副会長に大毎集落自治会長の佐藤憲一委員を推薦いただきましたが、よろしければ拍手で承認いただきたいと思います。

【委員全員から拍手あり】

事務局； みなさまから拍手がありましたので、佐藤憲一委員に副会長をお願いいたします。それでは確認ですが、会長は富樫保晴委員、副会長は佐藤憲一委員を選出することで決定します。

早速ではありますが、会長、副会長には前列の席の方へご移動をお願いいたします。

【正副会長席に移動、着席】

事務局； それでは、このあとの議事につきましては、「地域審議会の設置に関する協議書」の第6条第1項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、よろしくをお願いいたします。

会長； みなさま、本日はご苦勞様です。昨年度は、答申等がなく現状把握に努めただけとなりましたので、答申や要望など何かの結果を残せるよう2年間務めさせていただきます。みなさんご協力をよろしくをお願いいたします。

5. 報告

(1) 合併市町村基本計画登載事業の進捗状況について

会長； それでは、次第の5、報告事項の(1) 合併市町村基本計画登載事業の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局； 【合併市町村基本計画登載事業の進捗状況について説明】

会長； ただ今の事務局の説明に対し、みなさんから質問等がありましたらお願いします。

委員； 4番の山北コミュニティセンターに関わる地区生涯学習拠点施設整備事業が未着手とありますが、今後の見通しや考えについて教えてください。

事務局； 平成26年度の当初予算で耐震診断手数料を計上させていただきました。今年度中に耐震診断の結果が出ると思います。周辺の状況が高速道路のアクセス線に位置することなどを考慮すると、生涯学習施設としての利用だけでよいのか、あるいは他の機能と併用はできないのかなど、様々な用途が考えられると思います。

また、担当課より生涯学習の施設であるさんぽく会館が、現在手狭だという話しも聞いておりますので、耐震診断結果が出ましたら、地域のみなさんと相談しながら計画を立てることになると思います。

着手する年度につきましては、合併市町村基本計画は平成29年度までとあります。本計画はリニューアルを行うため、新たに建設するよりは期間を長く必要としないと考えておりますが、設計や施工までは時間を有すると考えています。診断結果が出次第、事業が動き始めると思います。

委員； はい、わかりました。

会 長； そのほかに、ありませんか。

委 員； 山北には他地区のように500人から700人規模が収容できる生涯施設がないため、合併前に地域からそのような施設を作らなければならないという提案が出ています。より良い施設の建設を切に願います。

委 員； 私たちは、山北地区の文化レベルを上げるため、先駆けて平成元年に文化協会を設立し頑張っています。

事業計画は平成20年から未着手ですが、なぜでしょうか。市内の生涯学習施設と比べると音響設備などの機能面や利用料金等に不平等を感じます。一刻も早い事業への着手を要望します。

会 長； ただ今の意見に対して、事務局は説明をお願いします。

事 務 局； 合併市町村基本計画を立てた際、音響設備の整った生涯学習施設に関する議論はなかったかと記憶しております。しかし、現実にお声があるのであれば、これから先の計画づくりにおいて、議論を交わす場が来年度以降に出てきますので、地域の声として挙げていくことができると考えています。

会 長； そのほかに、ありませんか。

ほかに質疑等がなければ、次に進みたいと思いますがよろしいでしょうか。

一 同； はい。

(2) 人口減少問題対策「チャレンジプラン」について

会 長； それでは、(2) 人口減少問題対策「チャレンジプラン」について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局；【人口減少問題対策「チャレンジプラン」について説明】

会 長； ただ今の事務局の説明に対し、みなさんから質問等がありましたらお願いします。

委 員； この「チャレンジプラン」について「市の職員はこのように動きます」という具体的なことはありますか。

事 務 局； そこまでは載せておりません。

委 員； 施策だけを並べるだけではなく、市の職員が率先して動く姿勢を示さなければ、住民と一緒に取り組むことはできないと思います。

また、職員数が減っても、一人ひとりが元気を出し、地域を活気づけるような市の組織体制と職員の体質づくりに取り組んでください。

委 員； 直接的な施策について、山北地区は位置的に行政サービスの恩恵を受けにくいことも考慮していただくようお願いします。

事 務 局； はい、わかりました。

会 長； ほかにありませんか。

委 員； 交流人口の増大に繋がる事業は「臨海学校の誘致」だけなのは少なすぎると思いますが、いかがでしょうか。

事 務 局； 交流人口の拡大については、観光協会と様々な取り組みをやっておりますが、そこに上乘せしたものではなく、当面、市として行うものを掲載しました。

臨海学校につきましては、浦和高校より体験した学生たちにとって将来に渡

ってたくましく成長できる場であると伺っております。また、埼玉県の高校から東京都の高校へと広がりを見せているとともに、市内見学も内容に含まれているため、市のPRにも繋がるものと考えて、市が焦点を当てて取り組む事業として登載させていただきました。

委員； 交流人口の拡大については、2、3校の実績や埼玉県から東京都に広がったと喜んでいる事態ではないと思います。他市にはもっと来ていますし、群馬県や栃木県など海のない県や、震災のあった福島県や宮城県が村上市に来ていないことも気になります。村上市は胎内市に比べて、体験を受け入れる横の繋がりが乏しいと思います。観光協会に任せきりではなく、市が先導し、協働する体制をしっかりと整えるべきだと思います。

事務局； 他の地域審議会でも受け入れ体制について同じご意見を頂戴しておりますので、その点につきましては、重々理解しております。

委員； 村上市は地理的に不利な部分もありますが、「村上市には山がある。そして海もある。」などを見出す工夫をするなど、十日町市や湯沢町などで都心の人から降りていたのも、海もある村上市へ足を延ばすような宣伝の工夫が必要ではないでしょうか。それが経済効果にも繋がると思います。

委員； 「村上市婚活支援事業補助金」について、営利を含む企業等も補助対象としたのは良いと思いますが、市が直接行う事業はないのでしょうか。

事務局； まず外部団体の支援から始めさせていただきました。

委員； 業者や団体の方が仕掛けなどにおいてうまいという点もあるかとは思いますが、市が直接取り組むという熱意ある姿勢を住民に見せることが大切ですので、小さな事業からでも実施すべきだと思います。

事務局； 市のやり方では杓子定規になりがちなため、住民の要望に応えられるノウハウを持った団体等を支援することから実施した方が効果的と考えています。

委員； 事業は申請段階で今年度実施するものはないのでしょうか。

事務局； 7月に実施予定の事業があります。

委員； 7月に行う事業について、男性に比べ女性参加者が少ないとお聞きしましたが、20人以上の参加がない場合は補助の対象にならないのでしょうか。

事務局； 人数条件を満たさない場合、補助の対象にならないことを了承のうえで申請いただいております。また、広報経費のみを補助対象としては、という意見もありましたが、まず初めは計画どおりに実施し、改善が必要な場合は今年度中に制度の見直しを行い、来年度以降に向けて使いやすい補助事業の内容にしていくこととして創設させていただきました。

委員； 荒川商工会青年部が実施した事業では、昨年度5組のカップルができました。今年度も実施するとのことですが、市は民間から実績報告を受け補助金を支払うだけでなく、足を運んで一緒に汗をかかないと協働のまちづくりではないと思いますが、どのようにお考えですか。

事務局； そのことについて、商工会ともお話をしなければいけないと思っておりますが、どういう協働の形が良いか検討の余地はあると思っております。

委員； シートNo.24「空き家バンク利用者支援補助金の創設」についてですが、山北

地区では地区内に住むところがないため、村上地区に転居している方も増えているので、空き家バンクの利用者の条件を市内の人も利用が可能な制度内容に見直しができないでしょうか。

事務局； 空き家バンクについてはプロジェクトチームで検討を重ねているところではありますが、市内の方も対象にすべきという声が多数上がっております。村上市内に住むところがないため、近隣市町村に転居している例も見られることから、市内からの人口流出を防ぐために、市内の人を対象とすることを検討しているところでもあります。

会長； ほかにありませんか。

委員； シートNo.7「成人式での地元産業PRのブースの開設」について、成人式会場に地元産業PRブースを設けるということですが、地元の魅力を知るのは、彼らが成人する以前の幼い頃からの方が良いと思います。小中学生への地元産業のPRについて教育委員会の郷育会議では行っていますが、この事業を担当する政策推進課や農林水産課は積極的に取り組んでいないように思います。幼いころから地元を知り、市外に出ても地域の魅力を語れるような子どもたちの教育に担当課も取り組むべきではないでしょうか。

事務局； 昨日、朝日中学校からの依頼で、支所職員と中学校により、現在村上市が重点的に取り組んでいること等の質疑応答をする機会がありました。その感想をいただいた中に、「村上市の取り組みを初めて知り、定住の意欲が増した」などの意見が多数あったため、教育委員会と話しをし、他校でも市職員の生の声を届ける機会を設けてはどうかと考えています。

委員； 山北中学校2年生の職場体験を、毎年5月に4日間受け入れさせていただいていますが、働く喜びや地元の生業を伝えることが、この時期の子どもたちにとって影響の大きいことだと感じています。

また、成人式会場で設けたブースについてですが、開設するのは「ろっくしゅぷ」とお聞きしていますがどのような経緯かお聞かせください。

事務局； 今年度は試験的实施と捉え、成人式の参加者に若手農業者グループの「ろっくしゅぷ」に加入している方がおり、お声掛けさせていただきました。今回の検証結果をみて発展させていくこととしておりますので、よろしく願いいたします。

委員； 若者への地元産業のPRには、出前講座も有効だと思いますが、現在の活用状況を教えてください。

事務局； データはないのですが、昨年状況から介護教室や消防の救急に関する講座が数多く実施されております。そのほかに多種多様の講座がありますが、利用は芳しくない状況です。それを踏まえ、今年度4月に生涯学習課では、各学校、集落、企業、団体等の代表者に村上市の出前講座を紹介するオープンセッションを行いました。今年度におけるその効果等は現状ではまだ把握しておりません。

委員； 1ページ目の将来推計人口について、地区と年代別を示すことによって、チャレンジプランの事業がどの地区に何が適しているか検証することができ、長

期的に計画しやすいと思いますが、なぜ詳細を記載しないのでしょうか。

事務局； そのように思います。平成52年の年代別データはありますので、第2次総合計画の審議をいただく際には、その資料を提示しながらご意見をいただきたいと思ひます。

会長； 各地区の審議会でもそのような問題が出されるかと思ひますので、可能であれば詳細の記載をお願いしたいと思ひます。

委員； 山北地区は、他地区に比べても高齢化が進んでいると思ひますが、今後の中長期的な計画を具体化する際には、村上市内全地区が統一的なものではなく、各地区の状況に見合った事業の検討をお願いしします。

委員； 他の市町村の実施率が高いものに交通基盤の整備が挙げられていますが、このプランに交通基盤整備が載っていないのはアンケート結果からでしょうか、それとも、ある一定の目途がついたということでしょうか。

事務局； このプランは、他の市町村のアンケートを参考に作ったわけではありません。入口として整理をしなかっただけですので、このアンケート結果をどう活かすかは、このプランづくりよりも第2次総合計画づくりの中に反映させていくことになると思ひます。

会長； ほかにありませんか。

委員； シートNo.16「空き店舗活用チャレンジショップ事業の創設」について、山北地区は空き店舗よりも、最盛期の4分の1になった海岸線の民宿の再生が課題になると考えます。空き店舗だけでなく、空き民宿も事業内容に盛り込んでいただきたいと思ひます。

事務局； わかりました。その件につきましては、商工観光課で検討しておりますので伝えさせていただきます。

会長； ほかにありませんか。

委員； シートNo.22「空き家等を活用した「まちの駅構想」の推進」とありますが、具体的に「まちの駅」とはどういう構想でしょうか。

事務局； まだ白紙と申していただいて結構です。全国でも地域の特性に応じて行っております。今年度は村上地区地域審議会の活性化事業で行うようですが、来られた方が寄りやすく、そこに地域のお年寄りも集まれるような、交流の場であり観光の場である仕掛けです。そして、この取り組みは各地域の実情に合わせたものとし、目的も中身も異なると考えています。

会長； そのほかに、ありませんか。

ほかに質疑等がなければ、次に進みたいと思ひますがよろしいでしょうか。

一同； はい。

6 議事

(1) 今年度の地域審議会の進め方について

会長； それでは、次第の6、議事に入ります。

(1) 今年度の地域審議会の進め方について、事務局から提案説明をお願いしします。

事務局；【今年度の地域審議会の進め方について説明】

会長； それでは、ただ今の事務局の説明に対し、みなさんから質問等がありましたらお願いします。

一 同； ありません。

会長； ほかに、質疑応答がなければ、政策推進課の職員は以上で退席となります。大変ご苦労さまでした。

（２）山北地区の地域課題解決策に関する提言について

会長； それでは、次の議事の（２）山北地区の地域課題解決に関する提言について、事務局から提案説明をお願いします。

事務局；【山北地区の地域課題解決策に関する提言について説明】

会長； 事務局の方から説明がありましたが、みなさんから質問等がありましたらお願いします。

委員； 提言するのは行政の体制整備のことに関してのみでしょうか。

事務局； そのとおりです。

委員； 文言についてですが、提言の項目は◎でまとめるのではなく、番号にした方が良いと思います。また、２つ目の提言は正職員を配置し責任のある保育の環境整備を要望するという主旨が分かる文言に訂正をお願いします。正職員の配置が、雇用の確保と定住にも派生していくものと考えます。

事務局； そのように訂正いたします。

委員； ３つ目の提言についてですが、退職者の補充が完全にされていないということでしょうか。

事務局； 現在、退職者に対して３割補充の方針となっています。

委員； 一般職の完全補充を明記した方が良いと思います。

委員； 民間には雇用の確保を促しておきながら、当の村上市が雇用の確保の役割を担っていないのはいかなもののでしょうか。

また、市職を補充する際は、職員は与えられた業務を単にこなすという考えではなく、一人ひとりが地域課題の改善や定住対策を思案し、自らが仕事を生み出すような積極的な姿勢を意識させ、かつ、そのような人員配置をすべきだと思います。今までどおりのことをやっていると地域の活性化は望めません。

委員； 支所職員の一人当たりの仕事量が増えすぎだと思います。

事務局； それでは、２つ目の提言では、保育に正職員を採用し、責任ある保育環境の整備と、雇用と定住に繋げることを主旨とした文言に訂正すること。そして、３つ目の提言は、一般職の完全補充を主旨とした文言に訂正することとしてよろしいでしょうか。

一 同； はい。

会長； そのほかにありませんか。

委員； 村上市区長会の会議で、各地区から支所長にある程度の権限を持たせなければならないという意見が出され、市が検討するとの回答でしたが、その後の進展はありましたでしょうか。

事務局； 権限というよりは、予算がないために緊急的な集落要望に対し、迅速に対応できないことから、新年度は50万円の予算措置があり、すでに執行しております。

また、その他で申し上げる予定でしたが、村上市の人員削減の取り組みに対して国からの交付金が多くきたため、一般会計に余裕が出た分を地域の元気づくり臨時交付金として、各支所2,500万円の目安で交付される予定で、これまで対応できなかった集落要望を平成26年度と平成27年度に渡って対応することとしております。現在、各室単位で要望する事業を掌握しているところであります。

委員； その2,500万円は支所長の権限で執行できるのですか。

事務局； いいえ。市の方針に基づき執行することになります。

委員； それでは支所なりに優先順位をつけて、地域の問題として取り上げたものは支所の優先順位を基に市は予算付けするのでしょうか。

事務局； そういう段取りで考えております。改めて集落から要望を取るのではなくこれまでの要望に対応できなかったものに対応していくこととしております。

会長； そのほかにありませんか。

委員； 提言についてですが、前段の基本計画で山北地区の生涯学習拠点施設整備の早期完了を盛り込まなくてもよろしいのでしょうか。

事務局； 今回意見書としたのは、前期の地域審議会で出された意見でありますし、先の審議でも今年度の耐震診断の結果をもとに進めることとしておりますので、意見書に盛り込むべきものではないと考えます。

委員； 今回意見、要望としてあがっているにもかかわらず先送りにしては、山北地区の活性化の推進は遅れるばかりです。委員のみなさんが基本計画登載事業の具現化を望んでいますので、今回の意見書に盛り込めるのであれば追記すべきだと思います。

事務局； はい、わかりました。今回、登載事業の早期具現化の意見を追記した文書をみなさんにお諮りする時間がないので、正副会長に確認したうえで意見書を提出するというところでよろしいでしょうか。

委員； 施設整備に関する各団体の要望や意見の調整が速やかに行える体制準備も前倒しをお願いします。

事務局； はい、わかりました。

委員； 意見書については、意見を聞くだけではなく政策に取り入れて欲しい主旨の明記をお願いします。

事務局； はい、わかりました。

会長； それでは意見書について、文言等の訂正と未着手事業の早期具現化、そして、政策的に取り組んで欲しい主旨を追記することによろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

会長； そのほかに、ありませんか。ほかに質疑等がなければ次に進みます。

7. その他

会 長； それでは、次第の7、その他ですが、この件に関して最初に委員のみなさんから何かありましたらお願いします。

一 同； ありません。

会 長； 委員の方から特にないようであれば、事務局の方から連絡事項等がありましたらお願いします。

事 務 局；【事務局からの連絡事項について説明】

会 長； ありがとうございます。

ほかにありませんか。

一 同； ありません。

会 長； それでは、特になければ以上で審議を終了し、議長の任を解かせていただきます。議事進行にご協力いただきまして、どうもありがとうございました。事務局に進行をお返しします。

事 務 局； 長時間に渡りまして慎重審議、大変ありがとうございました。

本日予定しました日程はこれで終了となります。最後に、佐藤副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。

副 会 長； 皆さん本当に長時間に渡りまして慎重審議、大変ありがとうございました。

当地区においても様々な問題が山積みではありますが、皆さんで良い知恵を出し合って、少しでも地域活性化に結び付けていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくをお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

8. 閉会 (12:00)